

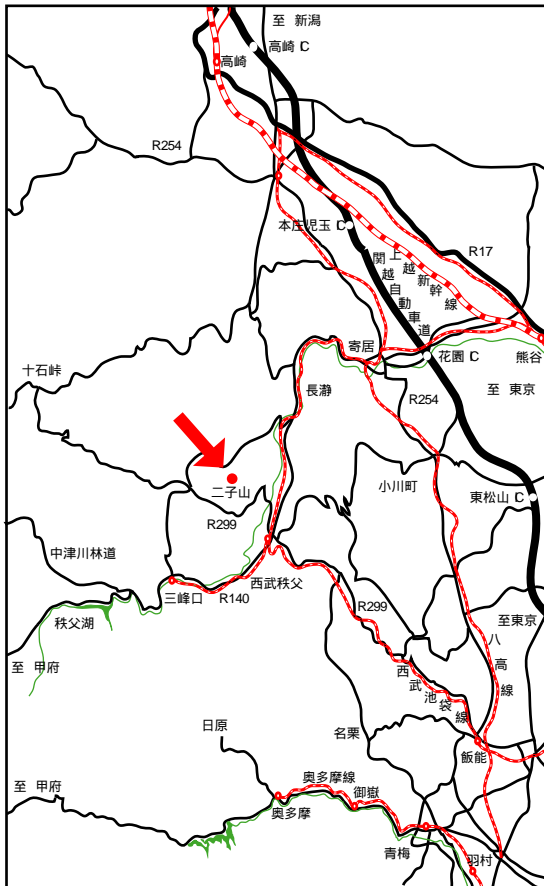
No1 二子山 Futagoyama

1月 Jan	2月 Feb	3月 Mar	4月 Apr	5月 May	6月 Jun	7月 Jul	8月 Aug	9月 Sep	10月 Oct	11月 Nov	12月 Dec
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------

5.9 UNDER	5.10	5.11	5.12	5.13 UPPER
×	△	○	◎	◎

プロフィール

1988年、折からの前傾壁ブームの中、長島睦夫ら群馬勢が矢久峠からのアプローチを発見し、エリアの開拓が一気に進んだ。特に東岳は美しい前傾壁に、コルネ、ポケット、エッジが削まれており、日本を代表する岩場である。傾斜は110-120°程度で、石灰岩特有のバワー、立体的な動き、足さきなど、技術的にも高いレベルが要求される。2009年には平山ユージによるフラットマウンテン(5.14d/15a)が初登され、世界的に注目されるエリアとなっている。東岳の岩場は大きく右壁、広場、弓状バットレス、二段岩壁にわかれる。ここではメインのエリアである東岳の広場、弓状バットレス、二段岩壁と西岳のほころエリアを紹介する。



東京方面からのアクセス
 関越自動車道で花園インターへ。そこからR140で寄居をぬけ、西武秩父方面へ進む。
 時間ほどでR299がぶつかるので右折。小鹿野町をぬけ、峠へ30-40分走ると坂本という数軒の家がある小さな部落へ着く。部落の外れの右側、道路に面して「民宿登人」といふ民宿がある。
 この先10メートルほど右に入る舗装された林道、西武秩父線があるので、これに入る。(R299が大き左にカーブしている部分)しばらく舗装された林道を進むとトンネルがあり二子山トンネル。さらにアウトを2キロほど進む。それまでずっと登り坂であった林道が、下りとなる。ここから左側を気をつけてみると、二子山に上がる登山道と道標がある。

駐車
 登山道の道標の周辺は林道がない部分で随所にあり、30-40台は駐車可能。
 他の車の邪魔にならないようご停車下さい。

宿泊
 山達の里 (0494-78-0002)はバungalow、テント可能。
 千鹿谷鉱泉 (0494-78-0243)は2食付7000円、いづれも車で岩場から1時間弱。

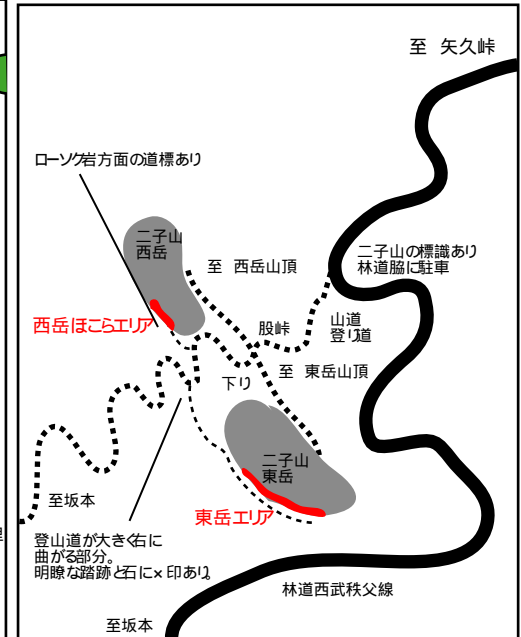
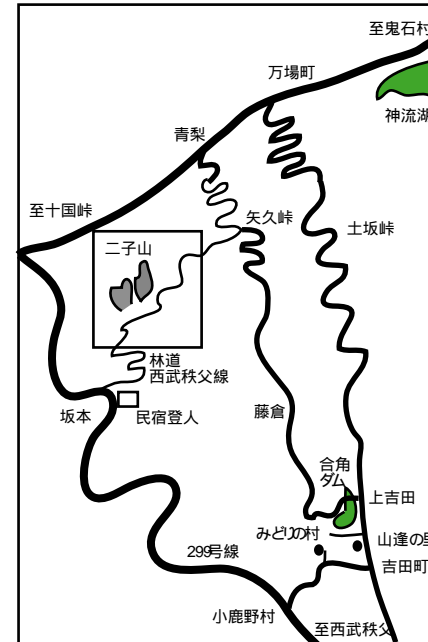


石灰岩 Car only 3hr from Tokyo 東京より3時間

No1 二子山 Futagoyama

プロフィール

林道の道標に従い、股峠、二子山への登山道に登る。林道から分ほど登り、東岳と西岳のコレの股峠。ここから坂本方面に登山道を下ると、すぐにローソク岩との分岐となる。(股峠から分、登山道が左に曲がっている部分道標あり)ここをローソク岩方面に行くときに、ほころエリア。東岳へは、さらに登山道を坂本方面へ分ほど進むと、登山道が大き右に迂回する部分に出る。ここからまず伸びる踏み跡に入る。(石に×印あり)分程度踏み跡を登ると、左側に二子山東岳のメインエリアが現れる。アプローチとここがわりがわりで、最初はできるだけ精通している人で行くことをお勧めしたい。



東岳 フラットマウンテン(5.14d/15a)を登る平山ユージ